

全八木地区みんなの広報紙



第 35 号

令和4年3月1日発行

発行所 八木地区市民協議会
発行 藤本 正博
連絡先 市立八木市民センター
☎443-6848

広報紙配布部数 (令和4年3月現在)

Table with 2 columns of distribution counts for various districts like 西大路町, 東大路町, etc.

八木地区市民協議会 会長挨拶



会長 藤本 正博

コロナ禍2年目の八木地区市民協議会活動報告

令和3年度八木地区市民協議会会長を務めさせていただいてます小松里町 藤本正博です。どうぞよろしくお願ひ致します。平素皆様方には市民協活動に

昨年度からのコロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言などにより多くの市民協行事が自粛あるいは中止になりました。岸和田市ではワクチン接種が4月に高齢者の方々から始まりましたが、夏の感染者数の爆発的な拡大により、地域伝統行事の地車祭りが昨年に引き

市民協ではコロナ感染予防対策を取りながらなんとか行事がでないか協議を重ねてきました。ここで今年度八木市民協の活動を簡単に報告します。

総会を6月に開催しました。令和2年度事業報告、決算報告、並びに令和3年度事業計画、予算などを提案し承認を頂きました。事業計画としては、連合子供会球技大会等各種スポーツ大会、各町会一斉美化運動、久米田池夏祭り、各町盆踊り大会、夜の街頭指導、祭礼パトロール、春木川、牛滝川一斉清掃、久米田池

とつてうれしい限りで元気が出てきます。

実施できた主な行事では、8月末に防災研修会を開催しました。今回の研修会は男女共同参画の視点を取り入れた避難所作りおよびその運営に焦点を当てたものになりました。八木市民センターにおいて約50人の参加で、岸和田市役所男女共同参画課の皆様の手助けを得て、講師と聴衆一体となって研修を行いました。避難所の設営、運営は、従来はどちらかというと男性が主体となっていました。女性に優しい、設営、運営が必要だと改めて考えさせられました。プライバシー、トイレ、安全等注意すべきところがたくさんあります。感染防止対策にも気を付けなければなりません。また災害発生時の備蓄品などにも女性の視点から品目の充実が求められるということも気づかされました。9月にはボランティア研修会を開催しました。11月には人権啓発部会が主体となって人権セミナーを開催しました。八木市民センターにおきまして約50人の参加でした。テーマは「女性の権利」で市人権協会の方々のご協力で20分程度の研修と映画「話せてよかった」を上映してもらいました。普段の何気ない言葉、行動により他人の心を傷つけていることがあり、人を敬う心、謙虚な態度、言葉が大切だということを学びました。みんなが気持ちよく暮らせる街づくりが大切です。さて最近心を痛めている事柄に交通事故があります。通学時、あるいは買い物途中時、交通弱者である歩行者が車にはねられ、大けがを負う、死亡するといったニュースを頻りに新聞等で目にします。地域の大切な宝物である児童生徒の安全な通学路の確保も市民協の課題の一つです。具体的には、久米田中学校正門前の通学路の改善、周辺道路の安全対策を市民協、学校、市役所で協議し進めています。抜本的な対策は困難な課題が多く容易に進みませんが、根気よく、少しずつ進めていきたいと思います。市民協としてできる通学路の安全対策として注意喚起カンバンにも力を入れています。事故は道路事情によるところが大きいと考えますが、運転者、歩行者のマナーも大切です。通学時安全確保のため多くの人のご協力も得て見守り活動にも力を入れています。地域から交通事故が無くなるよう願っています。

昭和29年小松里町に生まれ、この地で育ち生活してきました。交通の便が良く、自然災害も比較的少なく、生活するには非常に便利な地域です。しかし地域の一体感、繋がりがという面からみると、さらに強固になるよう市民協としてすべきところがたくさんあります。老若男女みんなが楽しく過ごせる街、生き生きと活躍できる街を目指して地道に活動をしていく所存です。今後とも支援賜りますようお願いしまして活動報告に代えたいと思います。

(2021年11月19日)

福祉部会 活動報告



福祉部会長 河畑 嘉七

令和3年9月11日(土)八木市民センターにおいて、八木三校区ボランティア研修会が開催されました。コロナ禍ではありましたが、91名の参加があり、誠に有難うございました。

今年度の講演テーマは「久米田圏域に住んでいる方々の病気を

から見える健康の秘訣」についてでした。地域包括支援センター久米田の清本好美氏を講師に招き、講演を頂きました。圏域内の現状、高齢者の概況及び介護保険の利用状況並びに加齢に伴う身体機能の低下、栄養のバランス等など、また圏域内での外来受診疾患上位(高血圧、糖尿病、脂質異常症)等についてお話がありました。

まず、自分の健康状態を知ること。また、ご自身で自己判断をしないこと。身体の調子がおかしいなと思えば、お医者さんに診察してもらおうことが大切だと改めて思う一日でした。(2021年11月18日)

人権部会 活動報告



人権部会長 泉本 由江

「なるほど！人権セミナー」女性の権利紹介

人権啓発部会も、コロナ禍で昨年より活動自粛が続いていました。10月には緊急事態宣言も解除され、以前の日常生活に少しずつ戻りつつある状況を踏まえ、2021年11月9日、八木市民センターにおいて、38名の参加による校区別人権問題研修会「なるほど！人権セミナー」テーマ「女性の権利」を実施することができました。

女性に関わる人権問題を映画

を通して考えました。

まず、配偶者からの暴力、DVの問題です。DVには、殴る蹴るだけでなく、言葉の暴力や生活費を渡さないなどの経済的暴力も含まれています。

次に職場での性別による差別の問題では、管理職への登用、昇進、男性に優遇される賃金などがあります。

そして、社会全体、慣習やしきたりなどで男女平等ではないと感じる方が多いこともわかりました。

今回のセミナーでは、男は仕事、女は家事、育児をすべきであるという考え方に疑問を投げかけています。夫は妻の手伝いをするのではなく、夫も妻も役割分担をする意識を持つ、男だから女だからという決めつけではなく、1人1人の想いを大切に、価値観の違いがあっても、男女一緒に参加して、責任も分かち合う社会作りが大切だと学びました。

まずは、自分の中にある思い込みに気づき、自分も相手も尊重



する人間関係を家庭の中で築くと社会や組織での意識改革に繋がります。

生まれたばかりの赤ちゃんも人権があります。その人権が重され、暮らしやすい社会になよう、身近な所から取り組んできたと思います。(2021年11月25日)



役員名簿

相談役	西村 朗	(八木市民センター所長)
理事	中津 隆彦	(箕土路青少年会館)
	立石 肇	(東大路町)
	岡野 輝秋	(大町)
	川中 富雄	(池尻町)
	河畑 守	(下池田町)
	佐々木 隆	(久米田中・校長)
	長岡 英晃	(八木小・校長)
	谷 早苗	(八木南小・校長)
	田中 裕雄	(八木北小・校長)
	藤本 正博	(小松里町)
	笠松 武志	(西大路町)
	根来 敏朗	(下池田町)
	須藤 正美	(紅葉ヶ丘町)
	今本 治好	(額町)
	増田 忠明	(五月丘町)
	藤浪 俊信	(大町)
	西本としえ	(池尻さくら町)
	吉里喜久規	(レックスガーデン)
	白樺 裕	(箕土路町)
	西村 公志	(新小松里)
	鈴木 義夫	(下池田東町)
	河合 隆文	(池尻町)
	武井 俊博	(額原町)
	新久保 徹	(花田町)
	橋本 正人	(松ヶ丘町)
	木村明日美	(緑ヶ丘町)
	今西 恒毅	(桃ヶ丘町)
	河畑 嘉七	(福祉部会長)
	松井 勝己	(青少年部会長)
	赤阪 正人	(文化・体育部会長)
	泉本 由江	(入権部会長)
	庄司 勝也	(環境部会長)
	杉原 富人	(広報部会長)
	田中 正幸	(全八木青指地区長)
	虫明 太希	(連合青年団長)
	前田 隆	(連合子供会長)
	和田 隆敏	(久米田中・教頭)
	新谷 龍三	(八木小・教頭)
	河原 敏彦	(八木南小・教頭)
	山崎 洋	(八木北小・教頭)
	藤山 翔太	(久米田中・生活指導)
	平松 弘孝	(八木小・生活指導)
	前川 浩也	(八木南小・生活指導)
	森川 哲平	(八木北小・生活指導)
	藤田 智	(久米田中・PTA会長)
	浅間 貞子	(八木小・PTA会長)
	柏田 尚子	(八木南小・PTA会長)
	島崎 勝利	(八木北小・PTA会長)
	中山 勇雄	(額原町)
	新留 福一	(池尻町)
事務局補佐		
事務局局長		

コロナ禍の下での小・中学校の活動報告

久米田中学校



校長 佐々木 隆

新聞を教育に活用する取組み



今年度から実施された新学習指導要領に、「新聞」などの実用的な文章から目的に応じて必要な情報を読み取る力を重視すると明記されました。新聞は、正しい日本語で書かれており良質な文章であるため、日本語力・読解力の向上にも役立ちます。

本校では昨年度より、新聞を学校で活用するNIE(教育に新聞を)活動の指定を受け、授業や朝学習などで取り組んでいます。

研究初年度は新聞に触れる機会を増やし、生徒が新聞に親しみを持てるよう、コラム

や社説の書き写しや、ワークシート教材の取組みを行ってまいりました。また、環境整備として教室や廊下に、話題のニュースや生徒が興味を持ちそうな記事と問いかけを掲示しました。それらの情報をもとに感想を伝えたり、思いを話し合う中で、相手の異なる意見や価値観、考え方を知り、自分の考えを深めることができるようになりました。

そして今年度は、「新聞づくり」を新たに取り入れることで、情報発信に必要な力を身につけていきたいと思います。

ネット情報が豊富になり、簡単に情報が得られる昨今、大人でも新聞離れ(今年度本校の家庭での新聞購読率は14%)が増えています。また、毎年行われる「全国学力学習状況調査」の質問紙においても「読書は好きですか」と「新聞を読みますか」といった質問に対しても低い数値を示してきました。小学生から高校生までの間に読書量が多かつた人ほど、大人になった時に「物事に進んで取り組む意欲」(主体的行動力)や「一時的な記憶力」(認知機能)などが高い傾向にあると、文部科学省の調査で分かっています。

2021年6月10日(木) 朝日新聞

### 命守るはずの(マスク)海で命奪う?

記事のよきとめ

海は命を守るはずの場所。しかし、コロナ禍で海は命を奪う場所にもなっている。マスクの着用が義務づけられ、海での活動も制限されている。この状況は、海を愛する人々にとって大きな課題となっている。

海は命を守るはずの場所。しかし、コロナ禍で海は命を奪う場所にもなっている。マスクの着用が義務づけられ、海での活動も制限されている。この状況は、海を愛する人々にとって大きな課題となっている。

海は命を守るはずの場所。しかし、コロナ禍で海は命を奪う場所にもなっている。マスクの着用が義務づけられ、海での活動も制限されている。この状況は、海を愛する人々にとって大きな課題となっている。

味・関心の高まりを感じていることは明らかです。早く内容を理解できるように、重要なポイントを探しながら読めるようになつたりすること、読解力向上、そして学力向上につながるのと信じ、今後もNIE活動を推進していきます。ご家庭や地域のご協力もお願いいたします。

(2021年10月21日)

八木小学校・園



校長 長岡 英晃

コロナ禍2年目での八木小学校園の活動

今年度は、「東京オリンピック・パラリンピック」が賛否両論のある中で開催されました。八木小学校園においても昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を十分に検討してまいりました。地域の皆様には、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域一丸となってご協力いただき、本校園の教育活動にご理解ご支援いただいております。ことに深く感謝申し上げます。

本校園では、今年度4月下旬と8月下旬から9月上旬にかけて感染症拡大防止のため臨時休業を行いました。多くの学校園行事が縮小・中止・延期され、子どもたちの心と体のケアを最優先に、日々の学校園生活を送っています。

このようなかた、私たちは



心身の痛みを和らげ、励まされ元気を与えられます。そのうな時、改めて「言葉」の切さを感じます。

さらに何気ない生活を送ることがどれほど幸せかということを感じました。コロナでの生活において、医療従事者の方々はもちろんのこと、生活の必需品を売ってくれた人たち、新聞・郵便・荷物を配達してくれる人たち、電車・バスを運転してくれ人たち、ゴミを収集してくる人たち、高齢者や障がい者を介護している人たち、子どもたちを育ててくれる家族先生など多くの人たちのおかげで生活ができています。

このような人たちにたくさん感謝を伝えることが、私たちにできることだと思います。本当にありがとうございます。

さて、今年度も、学びの障を越えることはもちろんのこと、学齢期の子どものために、必要不可欠である校園行事を、できる限りの口ナ対策を講じつつ進めてまいります。それぞれの行事ごとの手洗いの徹底、手指の消毒、3密を避けるための場の設定、保護者・地域の方の入場制限等を行っております。おかせまで何とか工夫して大切な教育活動が行えます。

これも地域の皆様方の多大なご理解ご支援があるから改めて感謝申し上げます。

結びに地域の宝である子どもたちが、家族や仲間とともに様々なことにチャレンジ、成長できるように温かく見守っていきたく思います。今度も、どうぞご理解・ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

(2021年11月11日)



他者(家族や友だち、地域の方、先生など)の存在の大切さを学びました。普段はお話や遊んでいた友だちが、臨時休業中、会えなくなり、とてもさびしい思いをしました。人間は「社会的動物」だと言われています。「言葉」を持っていくことが他の動物との違いです。極端な事例ですが、狼に育てられた少年を人間社会に入れようとしたが、長くは生きられなかったという話を聞いたことがあります。それは言葉が話せなかったからだと思います。私たちは他者と対話することで自らを成長させていきます。時に私たちはスポーツ選手やエンターテイナーなど多くの人たちから、

八木北小学校・園



校長 田中 裕雄

令和3年度より八木北小学校に赴任してまいりました。コロナ禍でなければ、市民協議会などで直接お会いして、ご挨拶させていたるところですが、本稿がその最初となりました。

少し指を折って数えたところ、平成12年度から平成20年度まで久米田中学校で社会科の教員をさせていただいていました。12年ぶりの久米田中学校校区への復帰となります。

その昔、八木北幼稚園から田んぼの間を抜ける道が暗く人通りもなく、通学路から外でつと、現在久米田中学校の校長をされている佐々木先生と、その暗い道で長い時間、様子をうかがったりしました。また、八木北小学校の北側にある踏切付近に不審者が出ると通報があったので、駅前の交番に見回りを依頼して、私も朝の時間に電信柱の陰に立って不審者を待っていました。そこへお巡りさんがバイ



クで登場。職務質問されてそのお巡りさんにさんざん文句を言った思い出もあります。

さて、令和3年度の八木北小学校は、全員マスク着用の給食時は黙食。毎日、検温に消毒。昔の学校の風景からは遠く離れてしまいました。

そんな中でも子どもたちの明るい声や元気に走り回る姿に勇気をもたらす毎日過ぎていきます。ただ、感染拡大を懸念し、毎年実施していた授業参観はまだできていません。

そのようななか、10月17日に運動会を実施いたしました。感染防止が気になるのですが、それ以上に前日の夜から降り始めた雨が悩ましいものに。朝5時半に止みそうです。雨の中、学校に到着すると運動場には、水たまり。しかし、天気予報は8時から雨が止むといっていました。学校に到着した職員から黙々と水を吸い上げる作業を開始。ふと、振り向けば、PTA会長の島崎さんをはじめPTAの役員さんたちも職員に交じって水抜き作業をしてくれている。本当に涙が出ました。

その昔、久米田中学校区で地域の方や保護者の方々に温かい応援をいただいていたことも思いだして、静かな雨に濡れながらも



八木北校区の変わらない温情に感激しました。

開始時間を遅らせ、10時開式。子どもたちがこの日まで懸命に練習してきた「表現」だけは、皆様のおかげで無事行うことができました。本当に感謝感激です。ありがとうございました。

11月5日6日に6年生と修学旅行で広島へ。4月初旬は、修学旅行にいけないのか不安だらけでしたが、緊急事態宣言も明け、マスク着用や検温、各所で消毒と普段にはない規制が多々ありましたが、全員元気に新しい思い出を作ることができました。

これから感染症の状況を見ながらですが、可能な限りの教育活動を展開していきますので、これまで以上のご支援ご協



これから感染症の状況を見ながらですが、可能な限りの教育活動を展開していきますので、これまで以上のご支援ご協

力いただければ幸いです。また、日々の子どもの様子、学校の様子は、本校HPで発信しています。お時間のある時、是非ともご覧ください。(2021年11月8日)

八木南小学校・園



校長 谷 早苗

平素は、本校園教育活動に多大なるご支援ご協力を賜り、ありがとうございます。

昨年度に引き続き、本校の一日は校門での「おはようございます。」に続いて「熱測つてますか?」で始まります。そして、毎時間授業の始まりには音楽『手洗いブギ(ゆず)』に合わせて手洗いタイムも実施しています。

子どもたちにとって、学校は安心・安全であることが最も大切だと改めて思います。さて、今年度の学校生活の様子の一部を紹介します。コロナウ



イルスによる感染拡大防止のため、日々の学校生活も様々な対応が求められています。そこでその一つとして、一人一台の学習用端末(タブレットパソコン)や校内の無線インターネット回線を活用し始めています。これらは、今後の情報化社会を見据えて、岸和田市が国の事業(GIGAスクール構想)を活用して整備を進めてくれたものです。



例えば、音楽では、歌を歌うことやリコーダー、鍵盤ハーモニカを演奏することを控えなければならぬので、端末が出す音を使った演奏を取り入れたりしました。また三密を避ける必要から、それぞれの教室に子どもたちがいる状態で、始業式や終業式、児童集会を行いました。教室にある大型モニター等に端末を接続することで、教職員の話を聞いたり、児童どうしがクイズを出したり、必要に応じて他の場面の様子を共有したりできます。オンラインという言葉も最近よく耳にしますが、今年度は学級懇談会もインターネット回線を利用してオンラインで行いました。児童が端末を持って帰り、それぞれの保護者が家庭にいながら、担任や他の保護者と会話することができました。こういう取り組みは、一般社



など、急速に普及し始めているので、今後も必要に応じて取り組んでいく方向にあると思います。一方、情報機器の活用以外にも、三密を避けながら実施したこともあります。その一つが、児童会行事として実施した子どもまつりです。これまでは、教室や体育館で全校一斉に実施していましたが、今年度は運動場を会場として、ペア学年ごとに行いました。今までと同じようにはできませんが、充実感に満ちた高学年の子どもたち、楽しそうな低学年の子どもたちの表情はキラキラしていました。



2学期には、様々な学校行事があり、感染拡大防止を念頭に、計画の見直しを行いつつの実施となりました。そのような中、実施した10月の運動会では、前日からの雨で開催が危ぶまれましたが、早朝より、現PTA役員・実行委員の方々、元PTA役員の方々をはじめ、メール連絡を見たり偶然通りかかったりした保護者の方まで、教職員と共に運動場の水をとりなど、お骨折りを頂きました。そのおかげで、予定した日に行うことができ、多くの方に参観していただくことができました。本当に有り難いことでした。幼稚園・1〜4年生の遠足、

5年生の林間学校、6年生の学旅行でも、子どもたちが、いしそつにお弁当を頼る様子や元気に走り回る姿に接し、もつれしくなりました。やはり一日も早く、子どもたちに伸びた学校生活を過ごさせあげたいものだと思っていました。今年度実施した学校生活一端を紹介させて頂きました。3学期には卒業式・修業を予定しています。まだまだ感染拡大防止の対策は必要だと思いますが、6年生にとって旅の大切な節目に当たりまよPTAの皆様のご理解を得ながら、学校としてより良いものをしていきたいと思っております。在校生も進級し、四月には新生を迎えることとなります。子どもたちが健やかに成長、豊かな学びを積み重ねる上で大切な安心・安全な学校生活のため、学校としても全力で取り組みます。保護者・地域の様には、これまでのご理解・協力に深く感謝いたします。してこれからも、お力添えをりますようお願いいたします。(2021年11月19日)



**コロナ禍2年目の八木市民センターの活動**

地域の皆様におかれましては平素から八木市民センターの活動にご理解ご協力賜りまして誠にありがとうございます。

本センターにおきましてもコロナ禍の影響で、数回にわたる公民館と図書館の臨時休館や開館時間の短縮と経験したことのない2年間となつてしまいました。利用の再開にあたりまして感染予防対策としてお部屋の定員の半減、使用後の消毒や名簿作成のお願い



八木市民センター所長 西村 朗



小学生の皆様も気軽に学習できるような学習スペースを新しく作ってみたり、桜の時期に普段は閉鎖している2階のテラスを開放するなど気軽に来館していただける工夫もしてみました。

私自身特に印象に残っているのは、ロビーにピアノを設置して皆さんに自由に弾いていただけるストリートピアノを開催した際に、お子様からお年寄りまで想像を超える多くの皆様が演奏をしていただ



いたご利用者の皆様にご協力いただいております。

本センターの事業といたしましても、計画していた講座の中止、八木大学の休講や公民館まつりの2年続けての中止など今まではない2年間になっていきます。

我々職員も新しい日常のスタイルに対応できる催しについての意見を出しながら企画することに努め、いろいろと試行錯誤してまいりました。まずは、少しでも来館者の皆様に明るい気持ちになつていただけるようロビーを季節に合わせた飾りをしてみたり、



職員一同地域に親しまれる市民センターを目指し励んでまいりますので、今後とも八木地域の皆様のご理解ご協力よろしくお願ひ申し上げます。(2021年11月25日)

七夕には笹飾りに短冊をお願い事を書いて飾っていただきました。参加いただいた皆様の願い事には年齢を問わず「コロナが早く治まりますように」というお願いが目立つてコロナ禍がいろんな方の心にも影響を与えていることを痛感した次第です。皆様の願いがこもった短冊は、願い事がかなうよう夜寝神社にお願ひしてお焚きあげしていただきました。

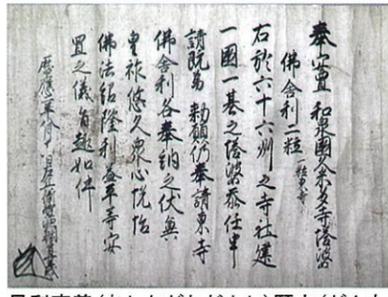
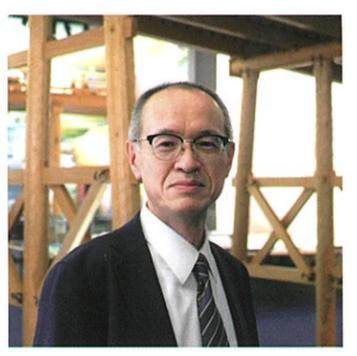
今はまだ、以前のような使い方がかなわないところもありますが、皆さんの活気あふれる雰囲気や館内に徐々に戻ってきてうれしく感じています。

お知らせ

図書館友の会岸和田再発見教室 公開講演会

中世久米田寺の役割 — 『久米田寺文書』を中心にして

講師：大澤 研一 氏 (大阪歴史博物館 館長)



足利直義(あしかがただよし)願文(がんもん) 1339年(暦応2年)8月18日

●久米田寺は高野山真言宗の寺院で、天平10年(738)に行基によって創建されたと伝えられる古刹です。同寺には鎌倉時代以降の中世の古文書がまとまって伝わっており、「楠木正成書状」「足利直義願文」など145通が国の重要文化財に指定されています。これらは和泉国で随一の規模を誇る中世文書といえるものです。今回はそれら中世文書をもとに、中世の久米田寺の活動を和泉国全体も視野に入れつつご紹介いたします。

日時 2022年3月5日(土) 14:00~16:00, 参加費無料

場所 岸和田市立八木市民センター(池尻町), 2階 講座室1

定員 70名(申込み先着順)

2月18日(金), 10:00より岸和田市立図書館(本館)で受付。

※ 直接または電話(072-422-2142)でお申し込みください。

【主催】岸和田市図書館友の会・八木地区市民協議会・岸和田市立図書館

【後援】池尻町議会

【転載】

令和3年9月

各町 町民の皆さま、祭礼関係者各位

八木祭礼町会連合会 八木祭礼年番

令和3年度八木祭礼の地車曳行の中止について

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、令和3年度八木祭礼(10月9日・10日)について、新型コロナウイルス感染症防止対策に努め、安心、安全な祭礼を目指して、八木祭礼町会連合会、八木祭礼年番、八木曳行責任者協議会、ならびに各祭礼団体は、何度も協議を重ねてまいりました。

現時点で感染拡大はピークを過ぎたかに見えますが、重症者数は依然高い水準を維持しており、医療提供体制は逼迫した状況が続いています。

また、保育園、小学校、中学校で、コロナ感染による休園、休校が相次いでおり、まだまだ予断を許さない厳しい状況であります。

こうした八木祭礼を取り巻く状況をふまえ、現時点で、皆様に安心して楽しんでいただける祭礼とするのは難しいとの結論となり、大変残念ですが、令和3年度地車曳行は中止いたします。

夜寝神社宮入り、久米田寺行基参り等、地車曳行を心待ちにしていた皆様には大変恐縮でございますが、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

なお、10月5日開催の、夜寝神社の「例大祭」、ならびに、10月9日開催の久米田寺での「行基菩薩謝恩法要」につきましては、予定どおり実施いたしますので、お知らせいたします。

以上

編集後記

第35号「いきいき八木」を発行するにあたり、お忙しい中にもかかわらず、原稿をお寄せいただいた皆様に厚くお礼を申し上げます。今号も「コロナ禍の下での各団体の活動」特集になりました。皆様ご存知のように、2021年度八木祭礼の地車曳行が中止になりましたが、この通知を八木祭礼町会長および八木祭礼年番長の了解を得て全文転載しました。2年連続の地車曳行中止となりましたが、「記録文書」として記憶に留めたいと考えました。2022年度八木祭礼では地車曳行が実施できることを願っています。本号も多くの八木地区の方々に読みいただければ幸いです。 広報部会長 杉原 富人